十九日夕刊
# 磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　磐城時報社
福島縣石城郡平町字鍛冶町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金壹拾錢
廣告料一行十四字詰金五錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

## 十九日から一ヶ月間 平銀行休業

### 財界動搖の余波をうけ 連日預金引出にあふたため

石城地方は昨年の金融恐慌以來金融界が逼迫し本年五月磐城銀行が休業するに至つて以來預金者は銀行に對し不安の念を抱くやうになり東北地方に於ける銀行中で基礎鞏固として一般から信頼をうけてゐた平銀行に於てもそれ以來連日預金より引出しが多くなつたが同行には之に對する支拂準備金が少ないので、この難局を打開するため有力銀行と合併すべく計劃をすゝめてゐたが遂に合併迄十九日から一ヶ月間休業を發表するに至つた

## 水戸常磐銀行と合併交渉纏まる

### 十九日から平銀資産調査 高岡唯一郎氏の努力

之より先き十七日平銀行監査役高岡唯一郎氏は重役としてでなく個人として單獨に午前九時平驛發列車で水戸市に赴き常磐銀行に至つて同行樓上に於て重役電した。常磐銀行からは十九日に面會し約六時間に亘つて赤誠を吐露して合併の交渉をなした處常磐銀行に於ては既に平銀行の內容を知悉してゐたため直ちに合併を承諾したので高岡氏は十八日午前十時歸平し午前十一時から平銀行樓上に於て重役會を開き、常磐銀行と合併の決議をなしその旨直ちに常磐銀行に返電した。常磐銀行からは十九日午前十一時三宅支配人外二名が平銀行に來り平銀行の資產狀態の調査に着手する筈であるから兩行の合併は交渉全く纏つたわけである。

## 年內には必らず開業

### 預金者の爲を思つて休業

◆……高岡唯一郎氏談

平銀行が休業するに至つたについて常磐銀行との合併交渉を纏めホッと安堵の胸を撫で下した監査役高岡唯一郎氏は十九日記者に語る。

「重役會に於ては合併成立まで營業を繼續せよとの說と合併まで休業すべしとの說で容易に纏りがつかなかつたが、預金者のためを考慮し合併まで休業するに至つたのである。休業するに至つたとは言へ十七日土曜日締切りの際の現金だけで二十五萬三千圓を有してゐたのだから無理に營業を繼續する氣なら不可能な事ではなかつたが、預金者のためを考慮し合併まで休業するに至つたのである。故に預金者には絕對に迷惑をかけぬ事を確信してゐる。年內には勿論開業の見込みで成る可くは二十一日の休業期間以內に合併の上開業したいと思つてゐる。平銀行の內容を調査し正式の手續きを了して開業するとすれば三十二日の日數を要する見込みであるが、さうなれば十二月二十日となり年の暮となるから平銀行の調査が六日若くは七日で終了次第平銀行の店を常磐銀行に引渡して便宜營業を繼續させ度いと思つてゐる。

## 重役並に行員の貸借關係

### 絕對になし

更に高岡唯一郎氏は語る。

「私は監査役として精査した處によると、平銀行に於ては、重役並に行員との貸借關係は全くなく且つ又重役及び行員或はその親戚關係者に於て休業を豫期して預金を引出したるが如き事も絕對にない事を知つた。預金は三百二十萬圓で積立金五十五萬圓、貸出し四百萬圓である。比較的不良貸付けと見る可きものは渡邊銀行に十三萬圓、福島商業銀行に五千圓、村井銀行に五千圓、磐城銀行に三千圓位のものである、平銀行の內容は以上の如くであるから此際有力なる常磐銀行と合併し內容堅實なる銀行として再現せしめ不安の念に滿されてゐる石城地方財界の安定を計らしめたいと思つてゐる。云々」

## 平銀行の現在內容

平銀行の現在の內容左の如し。

▲現在預け金　三〇八・一二一円
▲所有有價證券七二三・四八三
▲貸付金　四、〇四一・七六〇
▲貸付有價證券　六・四〇〇
▲所有動產不動產　一二一・九八四
▲未拂込株金　七五〇・〇〇〇
▲預金　三、六四二・〇四九

## 大口預金者 諒解す

休業を決議した平銀行では十八日午後同行大口預金者數十名を同行に招き休業するに至つた經過並に合併交渉の詳細を披瀝した處預金者は一同諒解した。

## 三阪の二百卅四町歩 減收のため免租

平稅務署では石城の山間部川前の一部となすことに決定し某々三坂、田人、貝泊地方から出願した地租免除の査定を終り目下取纏め中であるが、出願面積は

| | 面積 | 地價 |
|---|---|---|
| 田 | 二三四町九反五畝 | 三七、七二四円 |
| 畑 | 三、八、六 | 九六 |
| 計 | 二五七、八、一 | 三八、〇八二 |

でこの中畑は二毛作で大豆等の收穫あり全部却下に決したが田は總數の約九割まで免租することゝなつた被害の激甚な石城郡三坂村地方は全く慘憺たる有樣で稻の穗は結實せずまつ直ぐに立つたまゝでゐるもの大部分で農家は自家用米すら收穫覺束ない有樣で農家は途方に暮れ差し當り應急救濟策として平營林署から國有林の特賣拂下げを請願しやうと目下出願手續中である

## 平町有志 自動車專用の道路を出願

平町某有志家は平町土木監督所の諒解を得同時に特許の出願をなし全國では全く類のない自動車專用道路を開設して同地方に事業として植田署內入事相談所における林產物を運搬或は同方部に二百名分の無料理髮券を貧困への兒童等に分與すべく寄附を申出たので後藤署長はこの奇特な思ひ付に各小學校長を通じ調査する事となし組合には感謝狀を贈る筈である。

## 藝妓二名が薄幸を歎じて家出

平町新田町立花家方藝妓千代香事塩川さく（一七）しめ子事樋口（一七）の兩名は互に薄倖に同情し合ひ十七日未明手に手を取つて家出午前四時五十四分水戸著列車で下車したところを水戸署に連行即日抱へ主の許に連れ戻された。

## 貧困者の無料理髮

植田署管內植田町外一町八ヶ村理髮業組合では今回御大典記念事業として植田署內入事相談所に二百名分の無料理髮券を貧困の兒童等に分與すべく寄附を申出たので後藤署長はこの奇特な思ひ付に各小學校長を通じ調査する事となし組合には感謝狀を贈る筈である。

## 石城地方結氷

例年より十日早い

石城地方の氣溫は十七日夜來から俄に寒氣加はり十八日朝は本年になつて最初の結氷を見たが昨年と比較して約十日間ほど早い由である。

## ▲磐中マラソン

磐城中學校では十七日御大典奉祝のマラソン競走を行ひ午前九時一千名の同校生徒校門を出で石城郡內郷村字小島から飯野村谷川瀨まで一周約二里で成績左の如く十一時授賞式を擧げた。

▲一著四十四分卅二秒二年瀧田集▲二著四年木田義雄▲三著三年金澤正義▲四著四年大平正夫▲五著二年吉田武

なほ各級としては三年一組が第一の成績であつた。

鼻の藥　チクノール
平五　山野邊藥局

## 娘の周旋を依頼され旅館で强姦

平町字南町人事周旋業江尻繁彌（四一）は本年四月十四日赤井村福島炭礦坑夫鶴マツノ四女ツメ（十八）の周旋方を依頼されたので平驛前旅館に於て同人を强姦し

その後茨城縣行方郡玉川村高野武平方に酌婦に住み込ませる際土浦町の待合でも數回に亘つて强姦した事發覺し平署で取調中を奇貨とし六月上旬栃木縣足利町

## 藝妓が時計を橫領

平町田町藝妓屋福清方抱藝妓玉香事小野ミヨ（二〇假名）は馴染客なる某から預つた懷中金時計を入質した事發覺平署の取調べをうけた。

自動車專用道路は不便危險が多い、從來の軌道と比較して遙かに安全であり又經濟的である、現在我が國に於ては兵庫縣に於て一ヶ所小規模の自動車專用道路があるが極めて好成績を擧げて居るから今度石城郡三坂方面に出願された專用道路も相當の成績を收めるものと思はれるが專用道路は現在の國縣道路を利用することは出來ないので新に道路を開鑿するのであるから無論會社組織に依る外はないので資本も相當に要するものと思はれる。云々

## 内藤子爵の夢物語り

十六日晴れの地方賜饌にお召になつた何萬人かの光榮者中に聞くも憐れなそして涙が出る程氣の毒な殿様がある。平地方賜饌場に召された八百七名の最上席者である正三位内藤政潔子爵がその人で、磐城國湯長谷一萬五千石の藩主、今は夢物語殿様の城主石城郡磐崎村大字湯長谷のさびしい荒野原に取殘された一軒の破れ果てた舊藩臣の草庵に五十八歳の老齢を迎へながら泉藩主本多子爵の令姉に當る夫人とその日の生活にさへ困りこの寒空に老子爵はよろこびの下着に夫人は興いれに持參した道場着一着きりで野菜を作り僅な世襲財産で辛くもその日を送つてゐるが今度の饗饌に參列する着物にさへ困り舊家臣達が「殿様に參列させないのは家臣の不忠だ」とて種々着物の心配をしやつとの事でフロックに山高を調へてくれたので泥路をくつて晴れの賜せんに臨み御禮執奏の詞を述べる事が出來た、いほりを訪ふと舞臺に現れる古寺そつくりの座敷の眞中にある圍爐で焚火をしながら寒さを凌いでゐる殿様夫妻は御即位禮を奉祝するため「天壤無窮」と自書した掛物を拜みながら皇室の安泰を祈つてゐた。

## スポンヂ野球　南町優勝

第二回石城スポンヂ野球大會は十八日繼續戰を擧行したが戰蹟左の如く南町倶樂部が優勝したのとわかつた。

▲第二回戰

入勝山 3—2 北負
南町 6—1 宮辰

▲第三回戰

揚土 5—3 磐炭綴
高坂 8—2 田町
高月 3—0 入山
南町 9—0 二葉舍

▲准決勝

高月 4—3 揚土
南町 4—3 高坂

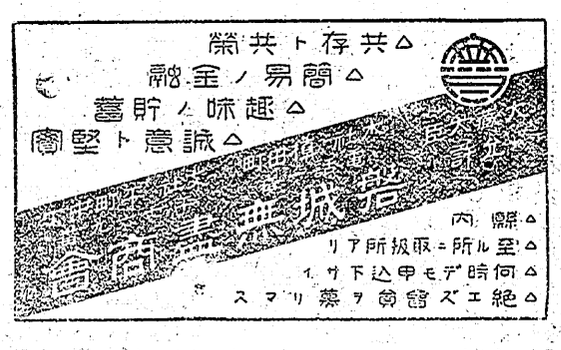
▲決勝戰

南町 3—1 高月


季節御料理　うなぎ蒲焼　魚榮
平町南町平館隣り　電話四二四番

さんま不漁　低溫のため
秋刀魚不漁の原因調査のため縣立小名濱水産試驗場の磐城丸は十二日小名濱を出帆し塩釜岬百浬の沖合を觀測調査して歸港したがその結果によると水温十七度で例年の十八、九度に比べて一度乃至二度低くなつて居る海水温が低いため不漁に終つたものとわかつた。

貸家　新川町十七
商店向（月十七圓）
新川町　中野勇吉




大和田醫院　耳鼻咽喉科
平町南町　電話一七〇番

平町紺屋町　吉田眼科醫院　電話六八番

胃腸　内科　専門　十二指腸虫病
淋病　婦人病
皮膚病　専門　松村病院　平南町　電話一〇七

公告
明十九日より十二月十八日迄預金の支拂を停止致候
昭和三年十一月十八日
株式會社　平銀行

内科　小兒科（院長毎日診療）
院長　醫學博士　難波睦
副院長　醫學士　五十嵐雄二
内科部長　醫學士　伊吹彪二
外科　内臟外科、整形外科、レントゲン科
外科部長　醫學士　氏家憲介
毎日曜手術　醫學博士　鈴木退輔
産婦人科　女子泌尿科
レントゲン科、入院分娩室完備
産婦人科部長　醫學士　五十嵐雄二
顧問　醫學博士　川添正道
◎共濟會員診察無料
本院醫事法制嘱託　法學士　岡蕃治
一般患者初診壹圓
本院主事　賀澤忠
電話七二番

獨逸シーメンスのユニバーサル・ヘリオドル
X光線新設
主任　醫學博士　難波睦
◎入院料　共濟會員一日金貳圓參拾錢也賄付
一般患者一日金貳圓八拾錢也賄付
平町　電話六四二番　磐城　共濟病院
◎入院自炊ノ便アリ　◎看護婦見習募集

外科　外科一般、耳鼻科、花柳病科
婦人科　産科、婦人科
内科、X光線科
平町字田町（電話四七五番）
赤心堂病院

外科　専門　平町南町　X光線科
上田外科醫院　電話一二九番

外科專門
診療科目　外科　内科　花柳病科　一般外科
▲診療時間（午前八時より午後九時まで但し急患は此の限にあらず）
入院隨意　平町田町大通り（電話四三六番）
安齋外科醫院

肺病肋膜　特効藥
アポ・ピー錠
藥價　十一日分　七・〇〇　卅三日分　二〇・〇〇
▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。
▲説明書密送す、御申込あれ。
代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

治淋新劑
淋アンチゴー
急性淋病、慢性淋病、消渴、膀胱炎等ニ用ヒテ偉大ノ卓効ヲ奏ス
特約販賣店　平町一丁目（電話六四二番）　大平屋藥店

二葉印刷所
平町字仲町　電話七三四番